

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 212

必ずまもる..... 212

点検、整備 213

点検整備について..... 213

定期点検..... 214

日常点検の前に..... 214

日常点検..... 216

その他の手入れ..... 224

ヒューズ切れ、電球切れのとき 225

ヒューズの受け持つ装置..... 225

ランプ類、電気装置が作動しないとき..... 230

電池交換 242

電池を交換するときは..... 242

車の手入れ 246

外装の手入れ..... 246

内装の手入れ..... 249

季節の準備 253

冬にそなえて..... 253

夏にそなえて..... 255

環境保護のために 256

廃棄物を処理するときは..... 256

車と上手につきあうために

必ずまもる

違法改造はしない

車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジン調整や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品の装着をするときは、日産販売会社にご相談ください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する

ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。

部品の取り付け、交換は日産販売会社に相談する

電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、日産販売会社にご相談ください。

また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセサリーを取り付けない

窓ガラスやその周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになったり、吸盤がレンズの働きをして、火災が起こるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

使用済バッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 警告



必ず守る

点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なう。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。

手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



必ず守る

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

無料点検について

新車登録後 1 か月（または走行距離 1,000km）、6 か月（または走行距離 5,000km）は無料で点検が受けられます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
整備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 点検、整備

定期点検

1 年点検、2 年点検は日産販売会社で受けてください。

知識

● 点検結果について

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。

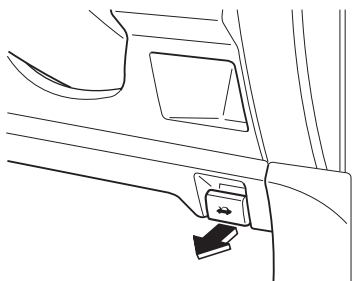
● シビアコンディションについて

一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。

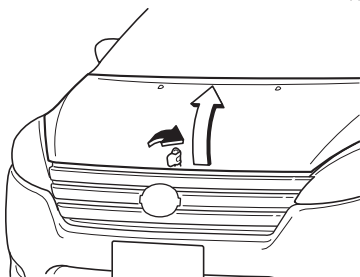
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

日常点検の前に

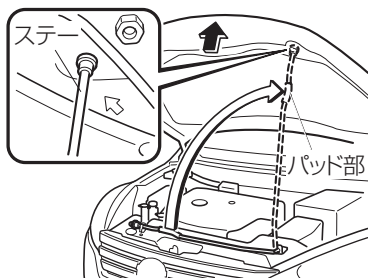
ボンネットの開けかた



1. 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



2. ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを押したままボンネットを持ち上げます。



3. パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

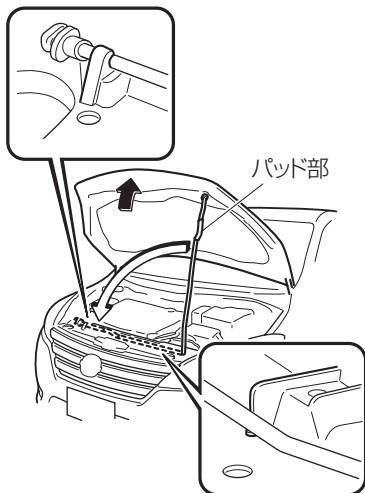
お手
入れの
しやすさ

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

ボンネットの閉めかた



1. エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
2. ボンネットを手でささえてステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。
3. ボンネットをゆっくりおろし、約 20 cm の高さから静かに落として閉めます。

⚠ 警告



必ずする

ボンネットが確実に閉まっていることを確認する。

走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. お手入れのしかた 点検、整備

注意



禁止

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。



必ず守る

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。



必ず守る

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

知識

点検結果について

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

点検項目と点検箇所

運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。

点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

運転席にすわって



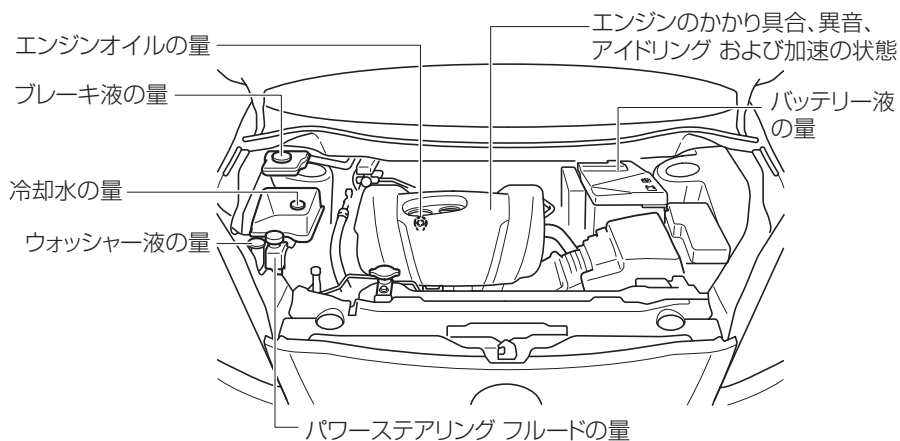
運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

エンジンルームをのぞいて

PE-VPS 型エンジン



お手入れの
しかた

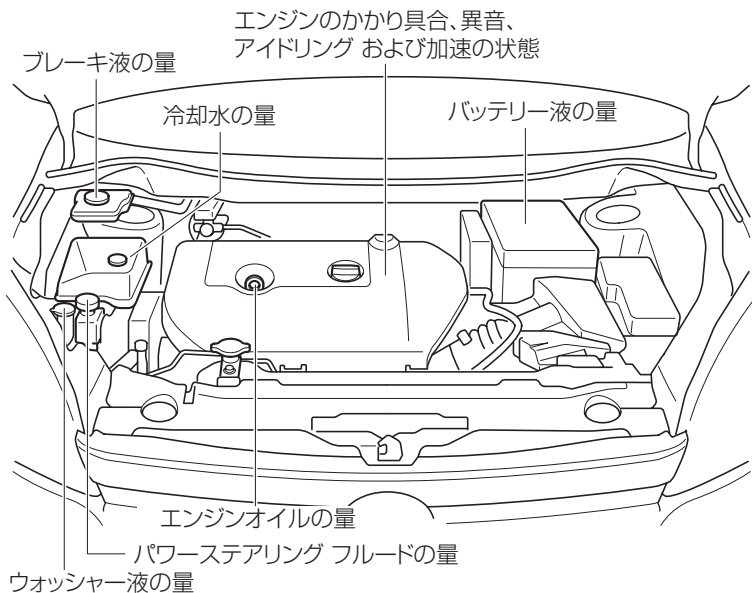
トラブルが
起きたら

車両
スペック

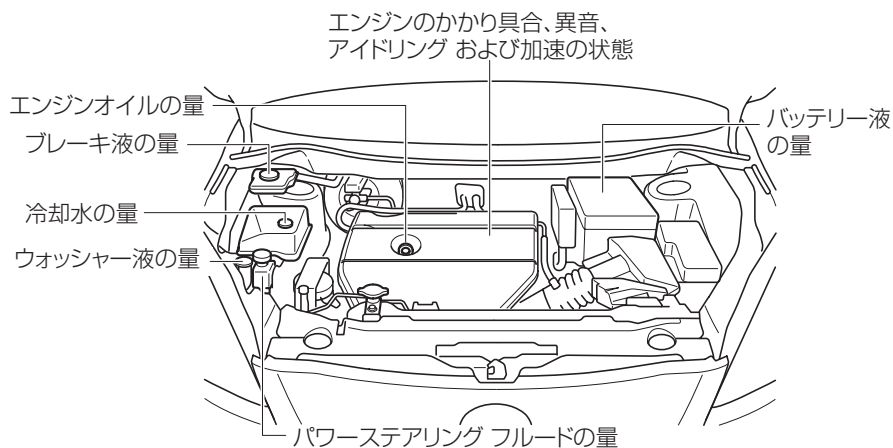
さく
いん

4. お手入れのしかた 点検、整備

LF-VD 型エンジン



LF-VE 型エンジン



注意



エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

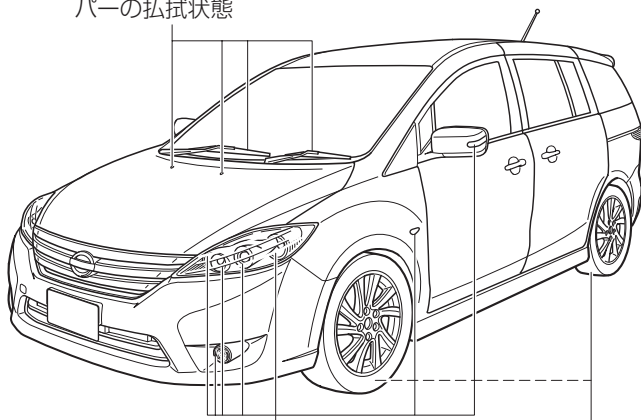
車両
スペック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 点検、整備

全体を見まわして

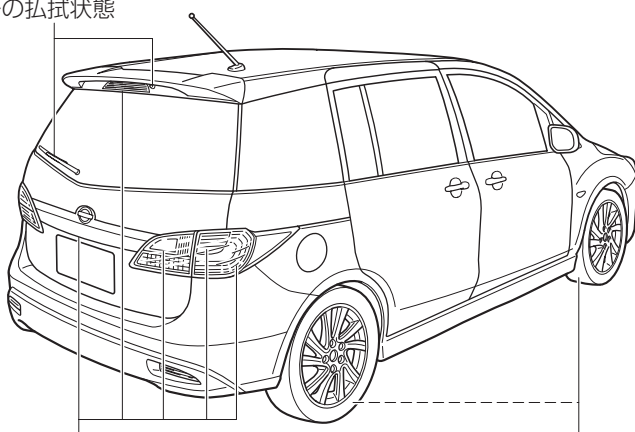
ウォッシャー液の噴射状態、ワイパーの払拭状態



灯火装置および、方向指示器の点灯、
または点滅具合、汚れ、損傷

タイヤの空気圧、き裂、損傷、
異常摩耗、溝の深さなど

ウォッシャー液の噴射状態、
ワイパーの払拭状態



灯火装置および、方向指示器の点灯、
または点滅具合、汚れ、損傷

タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常
摩耗、溝の深さなど

タイヤの点検

タイヤの点検は法律で義務付けられています。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

知識

タイヤの劣化について

タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後 5 ～ 7 年を目安に日産販売会社で点検を受けてください。

空気圧の点検

タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調節してください。

警告



禁止

タイヤの空気圧が不足したままで走行しない。

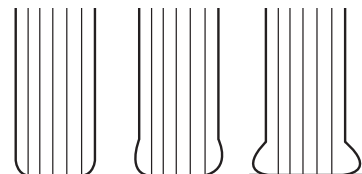
タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

タイヤバルブキャップは純正品を使用する。

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多

適正

不足

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 点検、整備

き裂、損傷の点検

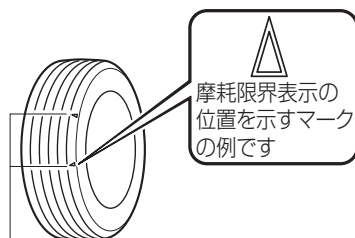
警告



異常があるタイヤを装着すると、次の状況が起こることがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因になるおそれがあるため、正常なタイヤと交換する。

- 走行中にハンドルがとられる
- 異常な振動を感じる
- バンクやバースト（破裂）する
- 車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できない
- 部品に悪影響をあたえる

溝の深さ、異常摩耗の点検



摩耗限界表示

摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。

警告



タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しない。

そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

知識

摩耗限界表示について

摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm だけ浅くなっています。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

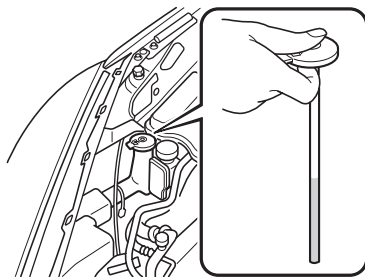
バッテリーの点検

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

→ 275 ページ「バッテリーあがりについて」

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
- 交換するときは、車両スペックを参照してください。
→ 306 ページ「バッテリー」

ウォッシャー液の補充



ふたの穴を押さえたまま引き抜くことで、ウォッシャー液量を点検することができます。

補充要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

注意



必ず守る

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

知識

ウォッシャータンクについて

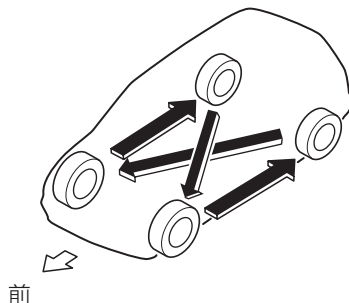
ウォッシャータンクは、フロントワイパー用とリヤワイパー用で兼用しています。

4. お手入れのしかた 点検、整備

その他の手入れ

タイヤの位置交換（タイヤローテーション）

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約 5,000km 走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



⚠ 警告



必ず守る

タイヤを交換するときは指定されたタイヤを装着する。

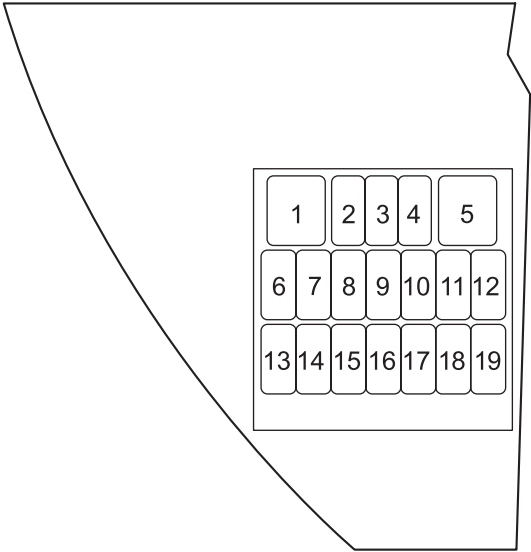
指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- タイヤの位置交換を行うまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。
→ 221 ページ「タイヤの点検」
- お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、搭載されているジャッキではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときは日産販売会社にご相談ください。

ヒューズの受け持つ装置

室内ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	P/W	30 A	パワーウインドー
2	M.DEF	—	—
3	STARTER	10 A	エンジンコントロールシステム
4	ENG3	20 A	エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備
5	P/W	—	—
6	P.OUTLET	—	—
7	SHIFT/L	5 A	トランスアクスルコントロールシステム
8	CIGAR	15 A	12V 電源
9	MIRROR	7.5 A	電動ミラー

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
10	A/C	10 A	空調
11	F.WIP	25 A	フロントワイパー / ウォッシャー
12	R.WIP	15 A	リヤワイパー
13	ENG/IG	5 A	メーター *1
			エンジンコントロールシステム *2*3 グレード/仕様別装備
14	METER	10 A	メーター
15	SAS	10 A	エアバッグシステム
16	S.WARM	—	—
17	ABS/ACC	5 A	オーディオ *1
			ABS ユニット *2*3 グレード/仕様別装備
18	EHPAS	5 A	パワーステアリング
19	ENG2	15 A	エンジンコントロールシステム

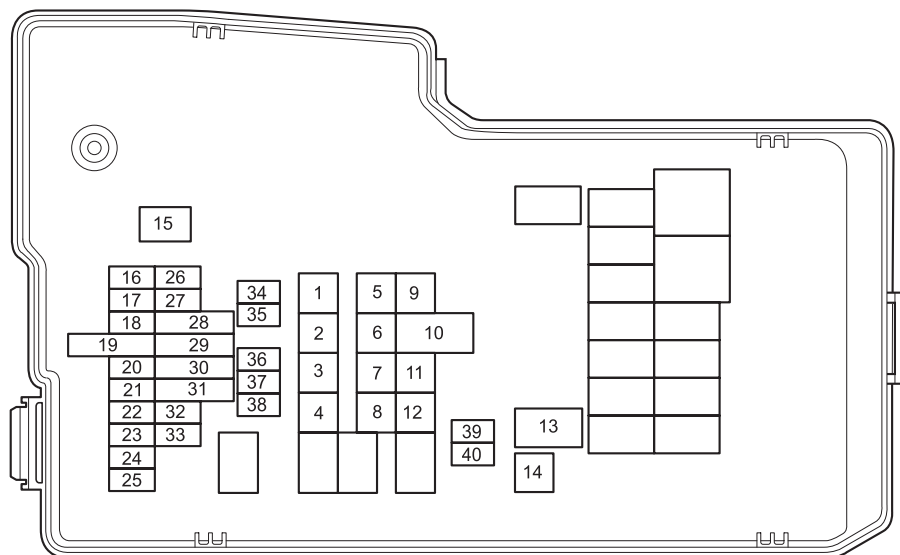
*1 PE-VPS 型エンジン

*2 LF-VD 型エンジン

*3 LF-VE 型エンジン

エンジンルーム内ヒューズボックス

ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	IG KEY1	50 A	各種電源
2	AD FAN	30 A	クーリングファン
3	GLOW2 HEATER2 FAN1	30A	クーリングファン ^{*1}
			エンジンコントロールシステム ^{*2*3} グレード/仕様別装備
4	EGI MAIN	40 A	エンジンコントロールシステム
5	INJ FAN2	30 A	エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備
6	ABS P	40 A	ABS ユニット
7	P.SLIDE L	20 A	電動スライドドア（左） グレード/仕様別装備

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
8	TCM EVVT	20 A	エンジンコントロールシステム * ¹
			トランスアクスルコントロールシステム * ^{2*3}
9	HEATER1	40 A	空調
10	DCDC2* ¹	40 A	各種電源
	GLOW1 * ^{2*3} HEATER3	—	—
11	BTN	60 A	各種電源
12	IG KEY2	40 A	各種電源
13	AT PUMP* ¹	20 A	トランスアクスルコントロールシステム
	FAN1 * ^{2*3}	30 A	クーリングファン
14	P.SLIDE R	20 A	電動スライドドア (右) グレード/仕様別装備
15	EHPAS	80 A	パワーステアリング
16	FOG	15 A	フォグランプ グレード/仕様別装備
17	D.LOCK	20 A	集中ドアロック
18	P.WIND	20 A	パワーウィンドー
19	TCM* ¹	15 A	トランスアクスルコントロールシステム
	AT PUMP* ^{2*3}	—	—
20	HEAD HI	20 A	ヘッドランプ (ハイビーム)
21	ENG+B	10 A	エンジンコントロールシステム
22	STOP	10 A	制動灯
23	F.WARMER FUEL PUMP	20 A	フューエルポンプ
24	HAZARD	10 A	非常点滅灯
25	ROOM	15 A	ルームランプ

位置	表示	容量	保護装置
26	TAIL ENG FAN	15 A	クーリングファン ^{*1}
			尾灯、番号灯、車幅灯 ^{*2*3}
27	A/C MAG	10 A	マグネットクラッチ
28	HORN ^{*1}	15 A	ホーン
	ABS V ^{*2*3}	20 A	ABS ユニット
29	AUDIO1 ^{*1}	15 A	オーディオ
	SUN ROOF ^{*2*3}	—	—
30	DCDC3 ^{*1}	25 A	各種電源
	H/CLEAN ^{*2*3}	—	—
31	ABS V ^{*1}	20 A	ABS ユニット
	HORN ^{*2*3}	15 A	ホーン
32	TAIL	15 A	尾灯、番号灯、車幅灯 ^{*1}
			エンジンコントロールシステム ^{*2*3} グレード/仕様別装備
33	ILLUMI	7.5 A	イルミネーション
34	ENG INJ	25 A	エンジンコントロールシステム
35	ENG BAR	15 A	各種電源
36	—	—	—
37	M.DEF	7.5 A	ミラーデフォグガー（曇り取り） グレード/仕様別装備
38	DEFOG	25 A	リヤウインドーデフォグガー（曇り取り）
39	HEAD LO L	15 A	ヘッドランプ左（ロービーム）

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
40	HEAD LO R	15 A	ヘッドランプ右 (ロービーム)

*1 PE-VPS 型エンジン

*2 LF-VD 型エンジン

*3 LF-VE 型エンジン

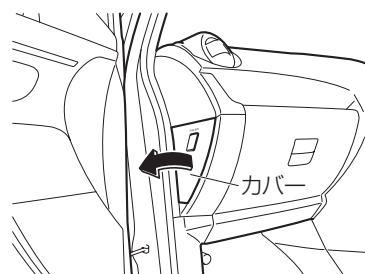
ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。

まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

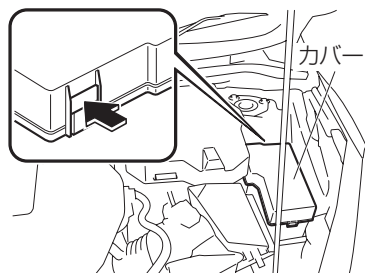
ヒューズの交換

室内ヒューズボックス



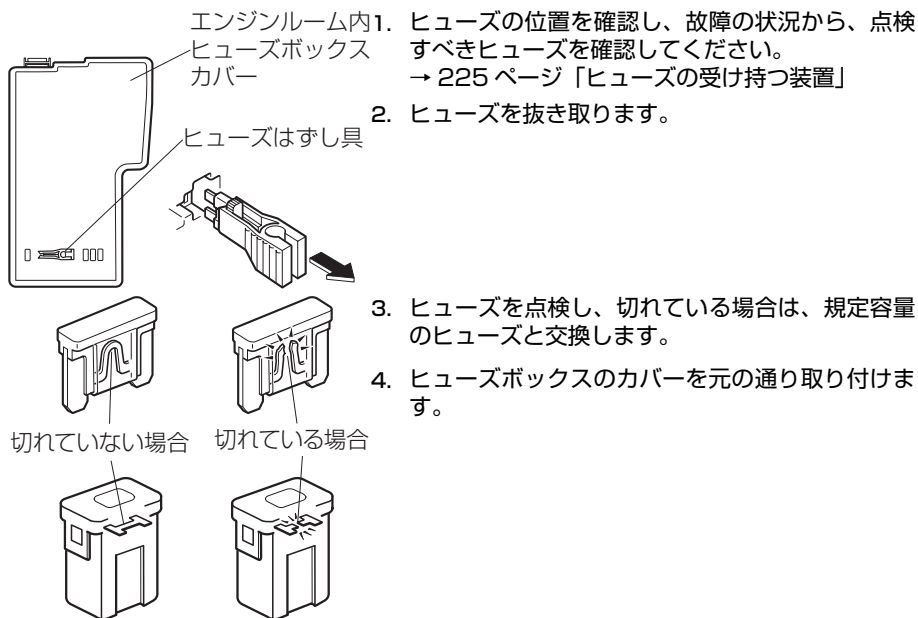
1. 電源ポジションを OFF にします。
2. ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席グローブボックスの左横と、エンジンルーム内にあります。

エンジンルーム内ヒューズボックス



知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。



警告



規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しない。

配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

知識

ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

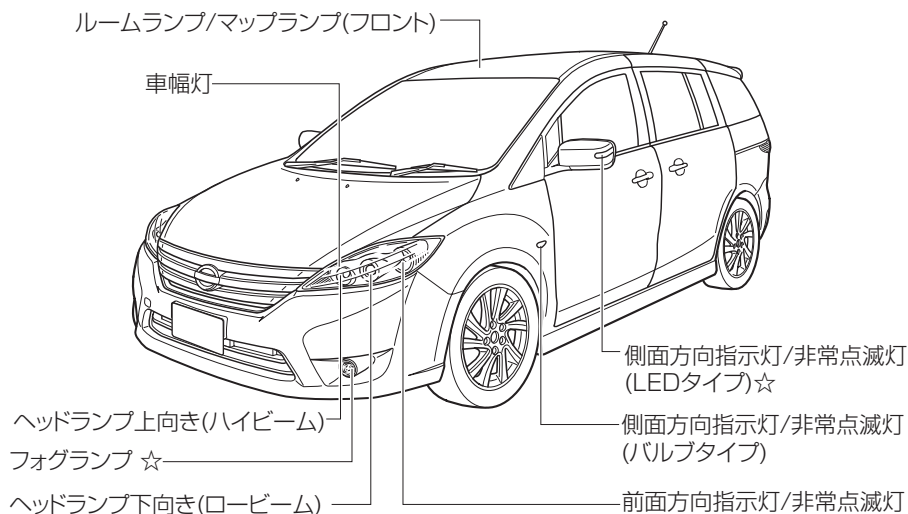
さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた

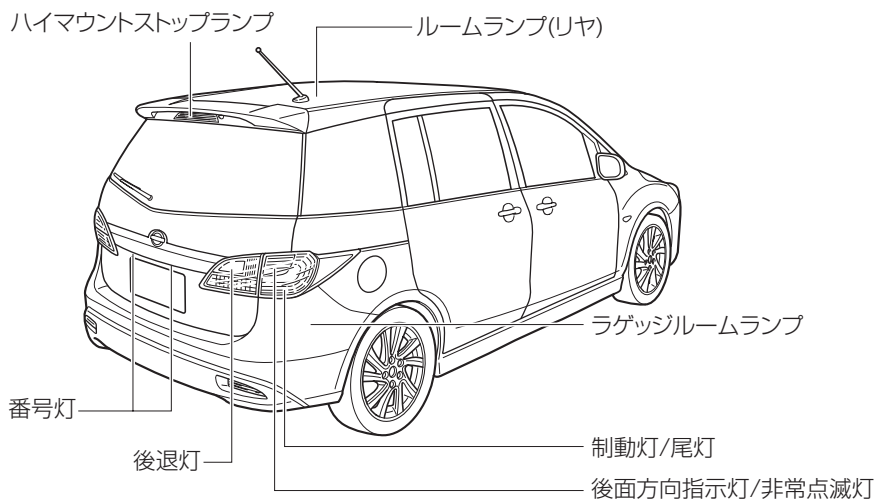
ヒューズ切れ、電球切れのとき

電球（バルブ）の交換

フロント



リヤ



☆印はグレードや仕様変更などにより装備の有無が異なります。

注意



電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。



番号灯、ルームランプ、ラゲッジルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズに当たると、傷がつくおそれがあります。

知識

● ハロゲン球の取り扱いについて

ハロゲン球を素手で触れてはいけませんが、万一、誤ってハロゲン球に触れてしまったときは、水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ってください。

● 交換する電球について

必ず同じ W 数の電球を使用してください。

● ランプの曇りについて

ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、日産販売会社にご相談ください。

運転
前に

運転
中に

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

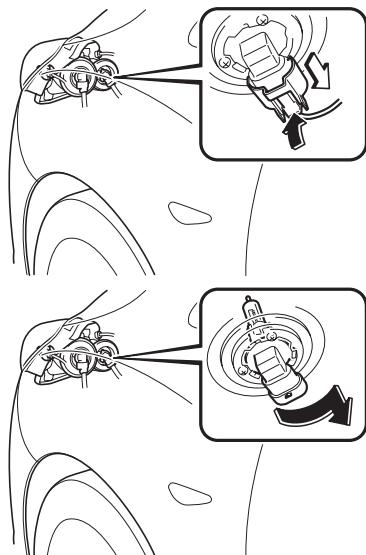
トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

ヘッドランプ

上向き（ハイビーム）



1. ボンネットを開けます。
2. ツメを押し、コネクタをはずします。

3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

下向き（ロービーム）

キセノンヘッドランプまたはハロゲンヘッドランプが装備されています。

（キセノンヘッドランプ装備車）

⚠ 警告

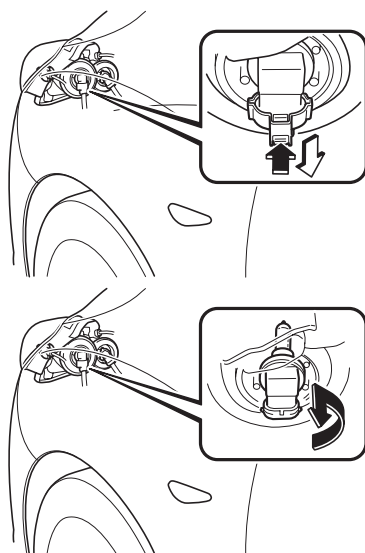


必ず守る

キセノンヘッドランプの交換・修理をするときは、必ず日産販売会社へ相談する。

キセノンヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

(ハロゲンヘッドランプ装備車)



1. ボンネットを開けます。
2. ツメを押し、コネクターをはずします。

3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

運転する
前に

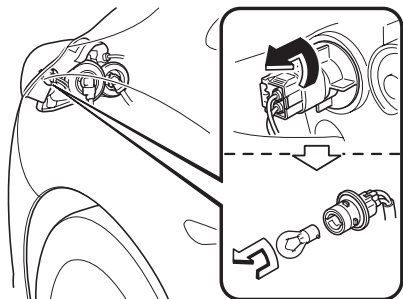
運転する
ときに

快適装備の
使いかた

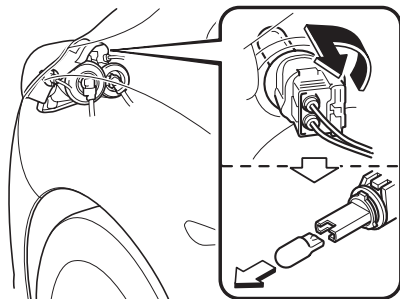
前面方向指示灯 / 非常点滅灯、車幅灯

1. ボンネットを開けます。

前面方向指示灯/非常点滅灯



車幅灯



2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

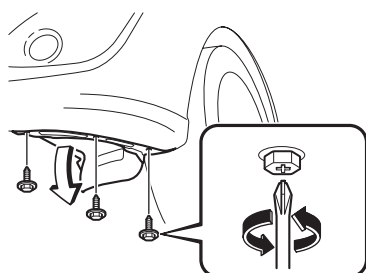
車両
スペック

さく
いん

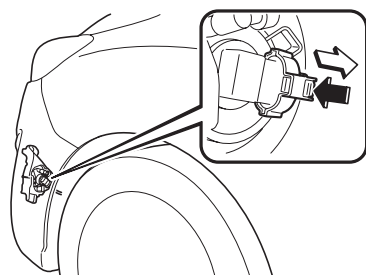
4. お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

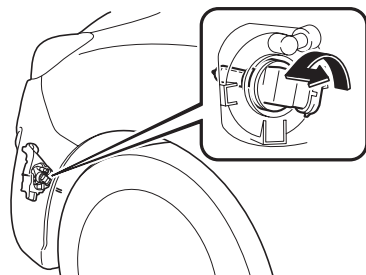
フォグランプ グレード/仕様別装備



1. ネジをはずし、マッドガードをめくります。



2. ツメを押し、コネクタをはずします。



3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。

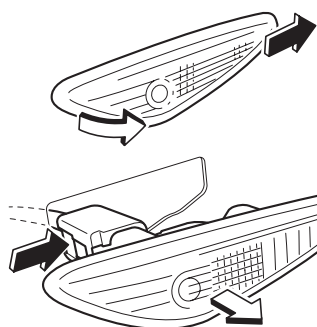
4. 電球を取り換えます。

5. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

側面方向指示灯 / 非常点滅灯 (LED タイプ) グレード/仕様別装備

ドアミラー横にある側面方向指示灯 / 非常点滅灯は LED タイプの電球のため交換できません。交換については、日産販売会社へご相談ください。

側面方向指示灯 / 非常点滅灯（バルブタイプ）

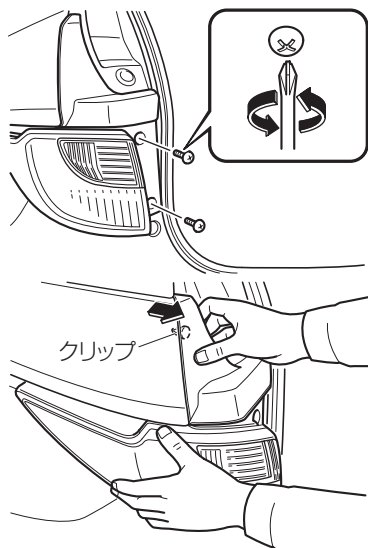


1. ユニットを車両後方にスライドさせ、取りはずします。
2. ツメを押し、コネクターをはずします。
3. 新しいユニットに取り換え、はずした手順と逆の手順で取り付けます。

知識

側面方向指示灯 / 非常点滅灯は電球（バルブ）の交換はできません。ランプユニット本体の交換となりますので、側面方向指示灯 / 非常点滅灯を交換するときは日産販売会社へご相談ください。

制動灯 / 尾灯、後面方向指示灯 / 非常点滅灯



1. バックドアを開けます。
2. ネジを取りはずします。

3. カバー上側のクリップ付近を手前に引いてクリップをはずします。

運転
前に

運転
ときに

快適
装備の
使用に
かた

お手
入れの
しかた

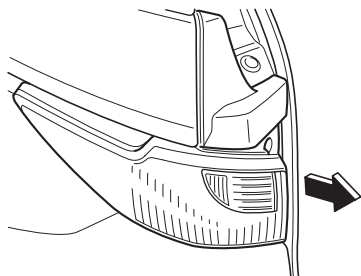
トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

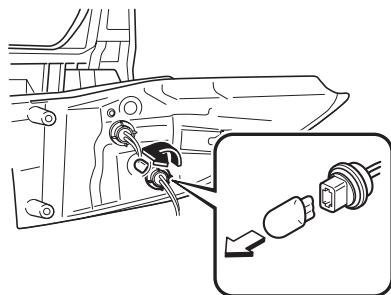
さく
いん

4. お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

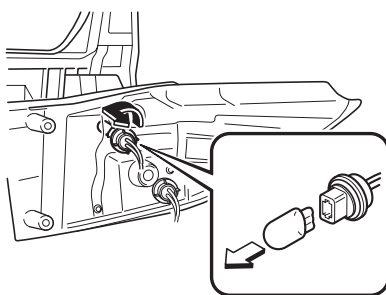
4. ユニットを車両後方に引き、取りはずします。



制動灯/尾灯



後面方向指示灯/非常点滅灯



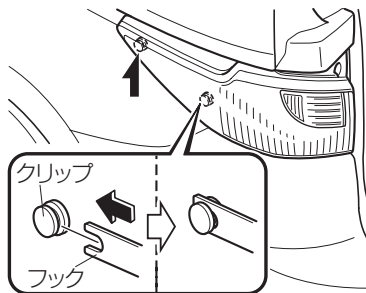
5. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

6. 電球を取り換えます。

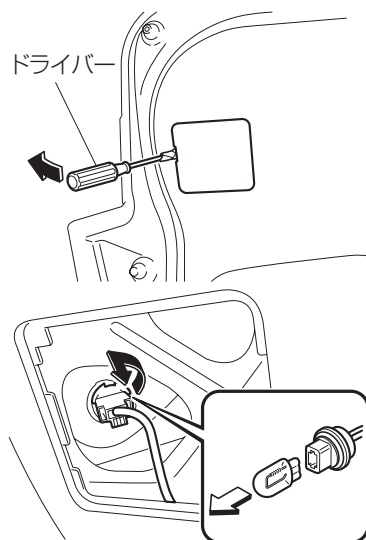
7. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

知識

ユニットを取りつけるときは、ユニット側のフック（2箇所）を車両側のクリップに差し込み、取りつけてください。



後退灯



1. バックドアを開けます。
2. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、カバーを取りはずします。
3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

運転
前に

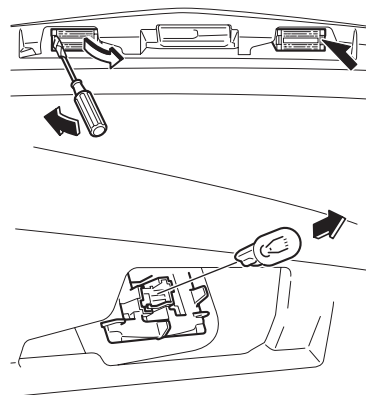
運転
する
とき

快適
装備の
使用

ハイマウントストップランプ

LED タイプの電球のため交換はできません。交換については、日産販売会社へご相談ください。

番号灯



1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
2. 電球を抜き取ります。
3. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

お手
入れの
し

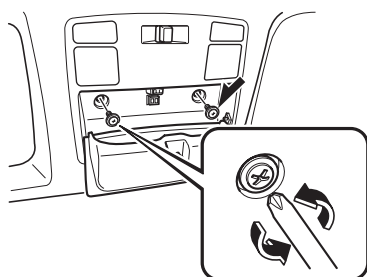
トラ
ブルが
起き

車両
スペク

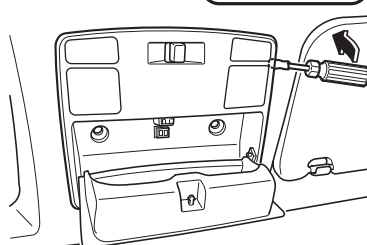
さく
いん

ヒューズ切れ、電球切れのとき

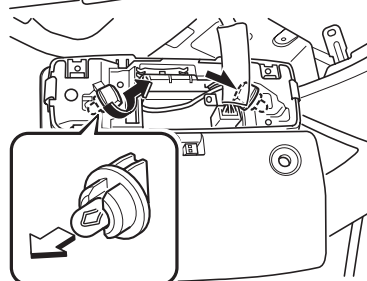
ルームランプ / マップランプ (フロント)



1. オーバーヘッドコンソールをあけます。
2. ネジをはずします。



3. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。



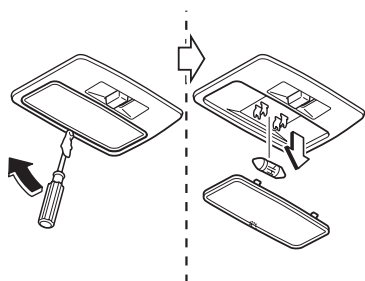
4. ソケットをまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
5. 電球を取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

⚠ 注意



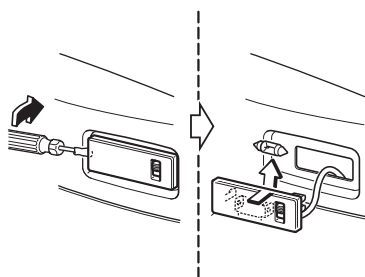
オーバーヘッドコンソールを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接オーバーヘッドコンソールに当たると、傷がつくおそれがあります。

ルームランプ (リヤ)



1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
2. 電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

ラゲッジルームランプ



1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。
2. 電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使用
に
あた
る

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

電池交換

電池を交換するときは

⚠ 注意



電池の+側と-側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。



電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。



電池を交換してもキー / インテリジェントキーが作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。

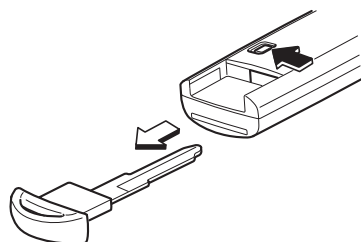
インテリジェントキー

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

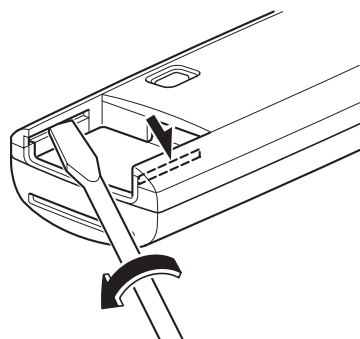
- エンジンをつけたときにメーター内の KEY 表示灯（緑）が点滅する
- インテリジェントキーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

電池交換のとき、インテリジェントキーが破損するおそれがあるため、日産販売会社での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

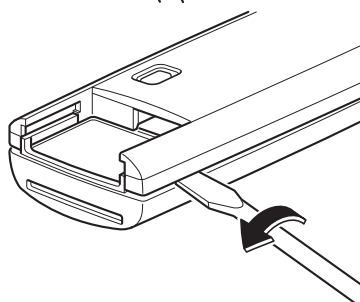
電池の規格：リチウム電池 CR2025



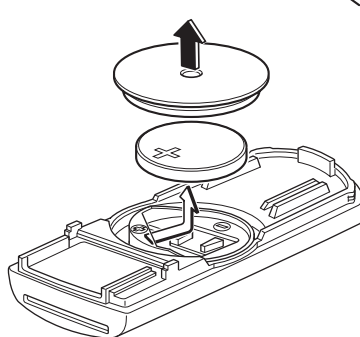
1. 補助キーを引き出します。



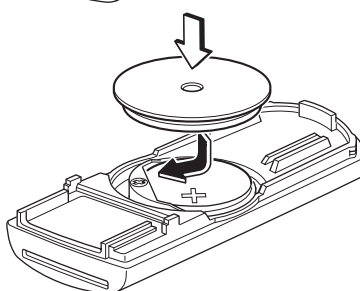
2. マイナスドライバーなどを使ってカバーを少し開けます。



3. マイナスドライバーなどを使ってカバーを取り外します。



4. キャップを外して、電池を取り出します。



5. 新しい電池を、+側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お手
入れの
しかた

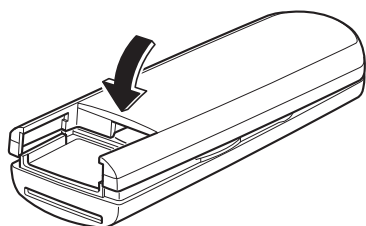
トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4. お手入れのしかた

電池交換



6. カバーを取り付けます。

7. 補助キーを差し込みます。

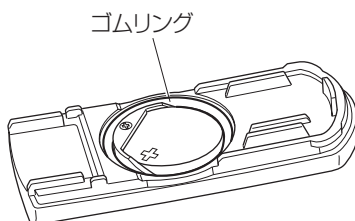
⚠ 注意



ゴムリングを傷つけないようにしてください。



ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。



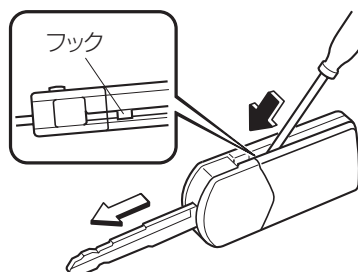
リモートコントロールエントリーシステム

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

- リモコンの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

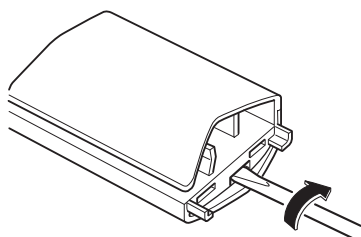
電池の規格：リチウム電池 CR1620



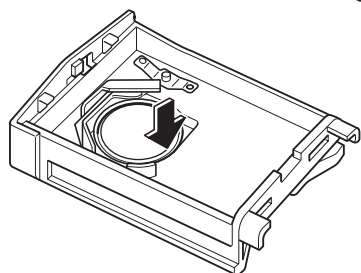
1. キーを取り出します。

→ 15 ページ「リモートコントロールエントリーシステム」

2. マイナスドライバーなどを使ってフックを押し、キー部分とリモコン部分を取りはずします。



3. マイナスドライバーなどを慎重に使って、ゆっくりとまわしながらカバーを開きます。

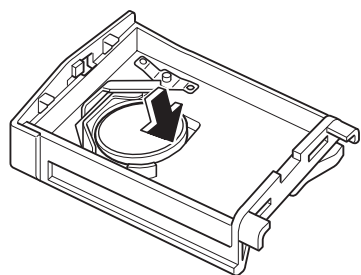


4. 電池の端を押して、電池を取り出します。



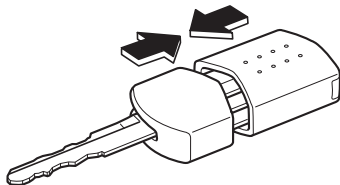
知識

指で押して取り出しにくい場合は、ドライバーなどで押すと取り出しやすくなります。



5. 新しい電池の+側を下にして、電池を差し込み取り付けます。

6. カバーを閉めます。



7. リモコンとキーの向きを合わせ、外れないようにカチッと音がするまで押し込みます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた

車の手入れ

外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。

- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスかけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのプラスチックを使用しているランプ類は、コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用しないでください。
- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。
そのまま放置しておくと、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
 - 海岸地帯を走行したとき。
 - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
 - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
 - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
 - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
 - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
 - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。

洗車するとき

水洗いするとき

1. 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
2. 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ってください。

注意



雨滴感知ワイパー装備車は、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。
電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。

⚠ 注意



必ず守る

運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。



禁止

エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。



必ず守る

洗車やワックスかけを行なうときは、車体のルーフ部の一点に強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、万一の場合、車体がへこむことがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

自動洗車機を使用するとき

- ドアミラーを格納してください。
- アンテナを取りはずしてください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはスポイラーがひっかかり洗車できない場合や損傷するおそれがあります。

高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください(30cm以上)。また、同じ場所を連続して洗浄しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行なってください。

ワックスをかけるときは

- ワックスかけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき(体温以下が目安)に行なってください。

📖 知識

ワックスの使用について

- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

車の手入れ

ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは純正ガラスクリーナーを使用してください。ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

注意



熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。

フロントガラスの油膜をとるときは

雨の夜は、フロントガラスに油膜があると、対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。
ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く水洗いしてください。
汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。

注意



中性洗剤以外は使用しないでください。ご使用の際には成分をご確認ください。
変色・シミの原因となります。

知識

アルミホイールを洗うときは

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつくことがあります。

外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗膜はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用すると、塗膜を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド（みがき粉）がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の变形や塗膜の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

内装の手入れ

⚠ 警告



禁 止

室内に水をかけない。

オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

📖 知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

4. お手入れのしかた

車の手入れ

シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

警告



シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、日産販売会社で交換する。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用する。

有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

布張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

革張り部分の手入れ グレード/仕様別装備

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
4. 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

知識

- 天然素材のため、シボ（本革表面の凹凸）の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油汚れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード（日除け）を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

運転
前に
する

運転
中に
する

快適
装備の
使用
に
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

クリーナブルシートの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに入手入れを行なってください。

1. 乾燥したきれいな布で、包み込むようにして汚れを取り除きます。
2. 残った汚れをきれいな布でこすらずに、しみこませるようにしてゆっくりふき取ります。

知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 中性洗剤を使用するとクリーナブルシートの機能が低下する原因になります。

4. お手入れのしかた

車の手入れ

樹脂部品の手入れ

樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。早めにやわらかい布などでふき取ってください。

注意



つや出し剤を使用しないでください。

含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。

センタークラスターフィニッシャー（ピアノブラック調）の手入れ

センタークラスターフィニッシャー（ピアノブラック調）には特殊な塗装処理が施されています。

汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。

知識

硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

冬にそなえて

エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。
→ 300 ページ「エンジンオイル」

バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。

バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。
点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。
冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	使用温度範囲 (外気温)
30%	− 16° C 以上
50%	− 37° C 以上

純正ロングライフクーラント（ゴールドen）〔FL22〕を使用する場合

純正ロングライフクーラント（ゴールドen）〔FL22〕は濃度調整済みの冷却水です。
薄めずそのままご使用ください。
冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水を交換する場合は日産販売会社にご相談ください。

ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。
→ 223 ページ「ウォッシャー液の補充」

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。
寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。
必要に応じて日産販売会社でお求めください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用
に
か
か
る

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 季節の準備

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

警告



必ず守る

タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用する。

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみて手順を理解しておきましょう。

→ 254 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

タイヤチェーンの取り付け

タイヤチェーンは 4WD 車も前輪に取り付けます。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。

路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板（停止表示灯）を使用してください。

注意



必ず守る

標準タイヤのみタイヤチェーンの装着ができます。標準タイヤ以外のタイヤにタイヤチェーンを装着すると、タイヤチェーンがボディーなどに干渉し、傷をつけることがあります。くわしくは日産販売会社にご相談ください。



必ず守る

純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。くわしくは、日産販売会社にご相談ください。



禁止

積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。また、4WD 車は駆動系部品に悪影響をおよぼし故障につながるおそれがあります。



必ず守る

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h 以下で走行してください。30km/h 以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

知識

タイヤチェーンについて

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じて日産販売会社でお求めください。
- アルミホイール装着車にタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

夏にそなえて

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。
点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エアコンのチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に日産販売会社で点検を受けておきましょう。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

4. お手入れのしかた

環境保護のために

廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合は日産販売会社にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガス HFC134a (R134a) を使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理は日産販売会社か専門の修理業者に依頼してください。